

西国三十三霊場巡りマラニック

青岸渡, 紀三井, 粉河, 施福, 岡寺

十月十三日
平成二十一年

フル百回楽走会
593
武藤 翔峰

台風一過、秋晴れの続く10月10-12日の3連休、西国三十三観音霊場9ヶ所を巡ってきた。1日目は一番青岸渡寺でここは世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』として登録されており、熊野那智大社や那智の大滝が隣接している。ここは紀伊半島の突端に位置し、つぎの紀三井寺へ移動するだけで一日目が終了、和歌山市内に宿泊した。2日目は紀三井寺に行った。ここは古くから「紀三井寺」の名で知られており、山内に湧く三井水は、「名水百選」に選ばれ、また、境内は関西一の早咲き桜として知られている。さらに西国三十三箇所の寺院の中で最大級の本堂の粉河寺に行った。大門をくぐると参道は右手にカーブし、参道の右側は川、左側には本坊、童男堂などの諸堂が並ぶ。参道の先には中門が建ち、そこからさらに一段高く造成された平地に本堂などが建つ。次に行った施福寺は横尾山寺と呼ばれた山岳寺院で、葛城修験系の寺院として創建されただけあって本堂へ行くのにかなり歩かなければならなかったのが、良いマラニックとなった。最後は前回時間切れとなった岡寺に行き2日目終了、藤井寺市に移してそこで宿泊した。



西国三十三霊場巡りマラニック 葛井寺，中山寺，総持寺，善峯寺

十月十三日
平成二十一年

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

3日目は、葛井寺からスタートした。葛井寺（ふじいでら）は、藤井寺市にある真言宗御室派の寺院で神亀2年（725年）、聖武天皇の勅願で行基が創建し、平安時代になって平城天皇の皇子・阿保親王が再興したとされ、境内は近所の人々の憩いの場となっている。そこから宝塚の中山寺へ行った。中山寺は聖徳太子の創建によると伝えられるわが国最初の観音霊場で、出産の無事安泰を祈る霊跡として、祈禱を受けた腹帯の授与を求めて日本各地から多くの参詣者が訪れる。次は総持寺へ行った。茨木市内にある総持寺は千手観音様を本尊としており、その他薬師如来、地藏菩薩、不動明王、弘法大師など多くの仏様や神様をおまつりしている。今回の最後は善峯寺だ。ここは京都府京都市西京区にあり、桜や紅葉の名所になっているとともに広大な境内各所から京都市街、比叡山を一望できる。ここへ着くのも昨日の施福寺と同じように山の中にありマラニック気分であった。高低起伏にとんだ伽藍は、手入れの行き届いた四季の草花木で浄土を思わせ、天然記念物、樹齢約600年の五葉の松、まるで龍が遊んでいる様な全長40数mにも及ぶ枝が見事。楽しい3日間のマラニックであった。

